

海守る大切さ知って

日本財団など笠岡でワークショップ

小学生ら参加 キャララを考える

岡山の海について学んで。日本財団（東 京）と山陽放送（岡山市）は17日、海を守るワークショップを子どもたちに考えてもらうワークショップを笠岡市横島の市立カブトガニ博物館で開いた。キャラクターを載せた絵本が今秋にも作られ、県内の図書館などに配布される。

される。

ワークショップは「プロジェクト」で、日本財団が海への関心を高



思い思いにキャラクターを描く子どもたち

た。子どもたちは図鑑 見学や惣路紀通館長に など、海を守ること 市で開かれる。絵本は、などを参考に、ト よる「カブトガニと海 ができるキャラクター キャラクターを、登場人物」としてストーリーをつくって、色鮮やかに描いた。カブトガニをモデルにしたキャラクター「ア・プロジェクト」は10日 ごろに完成する予定と

（平田亜沙美）

この日は笠岡、岡山 市などの小学生や保護 者ら約50人が参加し

カブトガニ博物館の 病気の魚を治したりす

「海のごみを食べたり、

小4年西山和志君は か、7月1日には玉野